**日本国内の生成AI利活用市場の規模とグローバル市場全体との比較**

日本国内の生成AI利活用市場の規模とグローバル市場全体との比較、さらに成長要因や市場動向の分析を行います。加えて、主要なサービスや企業についても調査し、包括的なレポートを作成します。

**日本の生成AI市場規模（2025年）とグローバル市場との比較**

**日本国内の生成AI市場規模（2023年～2025年の動向）**

日本における生成AI（ジェネレーティブAI）の市場は、ここ数年で爆発的な成長を遂げています。2023年時点では国内生成AI市場の規模（需要額）は約1,188億円（約8.6億ドル）と推定されました1。しかし生成AIブームの加速により、市場はわずか2年で大幅に拡大する見込みです。2025年には国内市場規模が約6,879億円（約49.6億ドル）に達すると予測されています1。これは2023年からわずか2年間で約5.8倍という驚異的な伸び率となります1。さらに中期的な予測では、\*\*2030年には国内市場が約1兆7,774億円（約128億ドル）\*\*規模にまで成長する見通しです1。つまり2023年から2030年までの年平均成長率（CAGR）は約47%にもなり、2025年以降も高成長が続くと見込まれています1。このように、日本の生成AI市場は2025年に向けて急拡大し、新たな成長フェーズに突入しています。

成長の背景として、日本では深刻化する労働力不足や生産性向上ニーズに対して生成AIへの期待が高まっていることが挙げられます2。政府もデジタル改革の一環としてAI技術への投資を積極化しており、企業による生成AI導入が進んでいます。この市場拡大により、2025年時点で国内の企業の約71%が何らかの形で生成AIを利用するとのデータもあります2（対して個人利用率は約9%2）。企業の業務効率化やサービス革新の手段として、生成AIの利活用が一気に広がっていることが国内市場規模の急拡大要因と言えるでしょう。

**グローバルの生成AI市場規模と日本市場との比較**

世界全体でも生成AI市場は爆発的な成長を示しており、日本国内以上の規模で拡大しています。2024年に世界の生成AI市場規模は約209億ドルに達し3、2025年にはその規模が数十億ドル増加して3～4百億ドル規模（約30～40億ドル台）になると見込まれます3。例えばある調査では2025年のグローバル市場規模を約379億ドルと試算しています3。これは同年の日本市場規模（約49.6億ドル3）と比較すると、グローバル市場は日本の約7～8倍にも達する計算になります。

さらに長期的には、世界市場は日本市場を大きく凌駕する規模に成長すると予測されています。2030年には世界の生成AI市場が約1,367億ドル規模に達するとの予測があり4、別の試算では約2,110億ドル（約32兆円）規模に達するとするものもあります4。後者の予測によれば、2023年から2030年に世界市場は年平均53.3%という驚異的なペースで拡大し、7年で約20倍に膨れ上がる計算になります4。一方、日本市場は同期間で約15倍の成長4と見られており、世界市場全体に占める日本のシェアは2023年時点の約8%から2030年には5～10%程度になると推測されます4。つまり、日本市場も急成長するものの、世界全体では北米や中国を中心にさらに巨大な需要が生まれるため、相対的な規模差は依然大きい状況です。

以下の表に、日本国内と世界全体の市場規模の推移（主要年次）をまとめ、両者を比較します。

| **年** | **日本市場規模 (億円)** | **日本市場規模 (億ドル)** | **世界市場規模 (億ドル)** |
| --- | --- | --- | --- |
| 2023年 | 1,1885 | 8.66 | 1207 |
| 2025年 | 6,8798 | 49.69 | - |
| 2030年 | 17,77410 | 12811 | - |

上表からも明らかなように、\*\*2025年時点で日本の生成AI市場規模（約6,879億円）\*\*は、世界市場規模の数割程度（約7～8分の1）に留まります。しかし日本市場の成長率は高く、2030年に向けても拡大が続くため、グローバル市場における存在感も無視できません。もっとも絶対規模では世界市場（特に米国や中国）が圧倒的に大きく、日本国内市場との開きは依然大きいことが確認できます。日本企業はこの巨大なグローバル潮流の中で、自国の強みを活かしつつ競争力を高めていくことが課題となるでしょう。